



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

10月号

令和4年9月30日
横浜市立境木小学校

読書週間に向けて

副校長 本田 昌彦

10月下旬から11月上旬にかけて、「読書週間」があります。かなりの歴史があり、読書の普及のための行事週間として、1924年（大正13年）に「図書館週間」として発足し、のちに「読書週間」となりました。

本校におきましては、児童会の図書委員会を中心に様々な活動の準備が今現在、進められていて、次のような取り組みが行われる予定です。「ロイロノートを使ったクイズ」では、図書館の本に関する問題が出題されます。「読書マラソン」では、決まった冊数を読むと景品がもらえます。「読書ビンゴ」では、ジャンルごとに読んだ本が、たて・よこ・ななめにそろそろとビンゴになり、景品がもらえます。そして、10月28日（金）に読書集会を行います。どの活動もとても楽しそうで、どれも人気が出そうです。今から待ち遠しく思います。

さて、話は変わりますが、過日、泉図書館を訪れたときに、ふと目にとまった『いちばんやさしい作詞入門』（中村隆道 著 株式会社メイツユニバーサルコンテンツ 発行）という本を手に取りました。作詞は誰にでもできる。作詞には特別な才能はいりません。ごく身近にあるものを題材にして書くことができます。という内容でした（後半には専門的な内容も書かれていました）。見たり聞いたりしたことを、少し言葉の表現を変えるだけでよいということに、心が惹かれました。そんなに簡単ならば、自分もやってみようという気持ちになり、挑戦しました。

ある日、自分が見たり、聞いたりしたことを、そのまま書いてみました。

9月10日 6時59分に、月が、まん丸になるというニュースをきいた。
その時間に外に出ると、向かいの家と家の間に満月が見えた。
月が輝いていた。きっとみんな見ている。

ちょっと言葉を変えて、下のようにはしてみました。

最大の月になると ニュースが ささやく
その瞬間 ビルの隙間から 光がふり そそぐ
今 友にも届け このひかり



歌詞っぽくなってきたのではないのでしょうか（全然違うというご意見はしっかりと受け止めさせていただきます）。そして、楽器の演奏はできませんが、音楽ソフトを使って作曲にも挑戦できそうです。もしかすると大ヒットになるかも、などという夢を抱いてしまいます。

物語の世界に浸る読書も楽しいです。それだけではなく、読むことによって、今まで自分が経験したことのない世界の扉を開くきっかけにもなるようです。これも読書の素晴らしさではないのでしょうか。子どもたちにとっても、素敵な本と出会うことが、可能性を広げるきっかけとなるかもしれません。

読書は、楽しみの玉手箱です。素敵な本と出会うことを願います。～♪